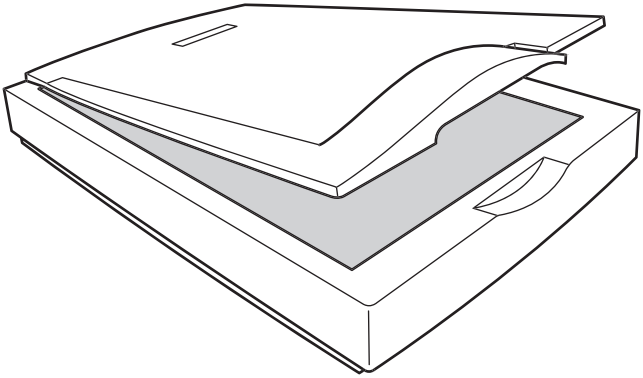
転写パッドリくん

Yes We Scan!

A3フラットベッドスキャナー Ver.2

CFBS-A3V2
取扱説明書



CENTURY

【はじめに】

このたびはCFBS-A3V2をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

・ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

⚠警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
⚠注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠警告

■煙が出る、異臭がする、異音がでる
煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない
台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない
ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠注意

■設置場所に関しての注意事項
以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
・浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
・火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
・直射日光のあたるところ

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けが等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■もくじ

■ はじめに …… i
■ 安全上のご注意 …… i
■ 制限事項 …… 1
■ ご使用の前に …… 1
■ 製品仕様 …… 2
■ 製品内容 …… 2
■ 各部の名称 …… 2
■ 対応機種 …… 3
■ 対応OS …… 3
■ スキャナードライバーのインストール …… 5
・Windowsの場合 …… 5
・Macの場合 …… 9
■ PCとの接続方法 …… 11
■ 原稿のセット方法 …… 12
■ 原稿をスキャンする …… 13
・スキャン方法と使用ソフトウェアについて …… 13
・A3原稿の2400dpiでのスキャンについて …… 13
・スキャン速度とファイル容量について …… 14
■ 原稿をビットマップやJPEG、TIFF形式でスキャンする …… 15
・ArcSoft MediaImpression2をインストールする …… 15
・MediaImpression2で原稿をスキャンする …… 16
■ 原稿をPDF形式でスキャンする …… 23
・ABBYY FineReaderをインストールする …… 23
・ABBYY FineReaderで原稿をスキャンする …… 24
■ Mac OS 10.5.8でのスキャン方法 …… 27
■ Mac OS 10.6以降でのスキャン方法 …… 29
■ 本体のお手入れ …… 31
■ トラブルシューティング …… 33

【制限事項】

・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。

【ご使用の前に】

・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
・Mac は Apple Inc. の登録商標です。
・記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
・イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

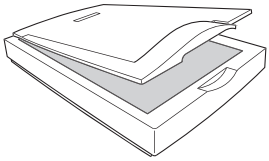
【製品仕様】

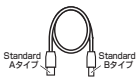
■商　　品　　名：転写パットリ君 A3フラットベッドスキャナー Ver.2
■型　　番：CFBS-A3V2
■インターフェイス：USB2.0
■USBコネクタ形状：レセプタクルBタイプ
■寸　　法：幅383mm×高さ82mm×奥行き555mm（突起部除く）
■重　　量：約4.4kg（付属品除く）
■温 度 ・ 湿 度：温度5 ～ 35℃・湿度20 ～ 80%（結露なきこと、接続するPCの動作範囲内であること）
■ACアダプター出力：12V 2A　最大消費電力 24W

〈スキャナー部仕様〉
■T　W　A　I　N：対応
■読み取りセンサー：カラー CISセンサー
■レ　　ン　　ズ：ロッドレンズ
■スキャン方式：CIS方式
■光　　源：LED
■露　　出：RGB LED
■解　　像　　度：主走査 2400dpi×副走査 2400dpi
■スキャン有効サイズ：最大 297mm×420mm
■デ ー タ 変 換：カラー 48bit/24bit、グレー 16bit/8bit、白黒 1bit

【製品内容】

・CFBS-A3V2 本体
・専用ACアダプター
・専用USBケーブル
・スキャナードライバー/
　ボーナスソフトウェアCD-ROM
・取扱説明書/保証書


CFBS-A3V2 本体



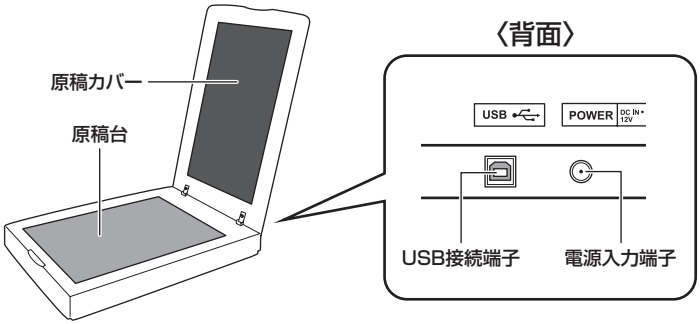
専用USBケーブル

専用ACアダプター

スキャナードライバー/
ボーナスソフトウェアCD-ROM

取扱説明書/保証書

【各部の名称】



【対応機種】

■Windows

・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機
・CPUクロック 2GHz ／メインメモリ 1GB以上

※スキャナードライバーのインストールに光学ドライブが必要です。
※intelチップセット搭載モデル推奨。
※SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller 搭載PCは、USB HostControllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

■Mac

・USB2.0インターフェイスボードを搭載したMacPro、iMac、MacBook、MacBookPro

※スキャナードライバーのインストールに光学ドライブが必要です。
※PowerPC 搭載のMacintoshは動作保証外になります。

【対応OS】（2012年9月現在）

■Windows

・WIndows 8（32bit/64bit）＊Windows 8 Release Previewにて動作確認を行っています。
・Windows 7（32bit/64bit）
・Windows Vista（32bit/64bit）
・Windows XP（32bit）

※Windows Updateにて最新の状態にしてご使用ください。
※Windows 95 / Windows 98 / Windows 98SE / Windows 3.x / Windows NT /Windows Me / Windows 2000では動作しません。
※Windows Server 2003 / Windows Server 2008 / Windows 7 Starter Editionはサポート対象外になります。

■Mac

・Mac OS 10.8、10.7.4、10.6.8、10.5.8

※ 製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

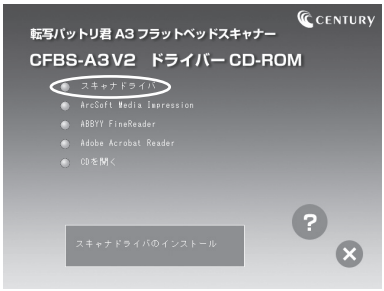
【スキャナードライバーのインストール】

本製品を使用する前に、スキャナードライバーのインストールを行います。
※ドライバーのインストールは付属のCD-ROMを使用するため、光学ドライブが必要になります。

■ 注意！
・スキャナー本体をPCに接続する前に、必ずスキャナードライバーのインストールを行ってください。
　ドライバーのインストールをする前に本製品を接続すると、正常に認識されなくなるおそれがあります。
・起動しているプログラムがある場合、すべて終了させてからドライバーのインストールを行ってください。

■Windowsの場合

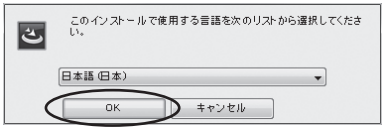
1.



本製品付属のドライバー CD-ROMを光学ドライブにセットします。
自動的にドライバーインストールの画面が開きます。
画面内「●スキャナドライバ」をクリックすると、ドライバーのインストールが開始されます。

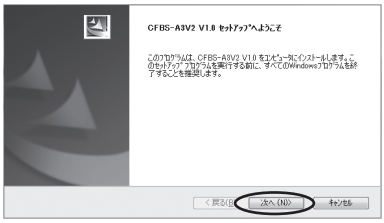
～自動的にドライバーインストール画面が出ない場合～
※CD-ROMの自動再生をオフにしている場合はコンピュータからCD-ROMドライブを開き、「Autorun.exe」をダブルクリックするとドライバーインストールの画面が開きます。

2.



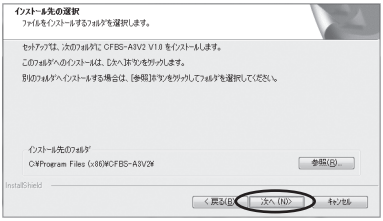
セットアップ言語のリストから「日本語」を選択し、「OK」をクリックします。

3.



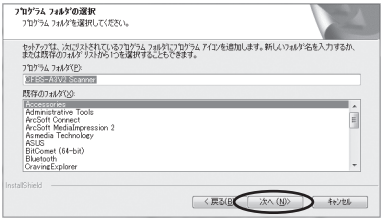
セットアップウィザードが開始されるので、「次へ」をクリックします。

4.



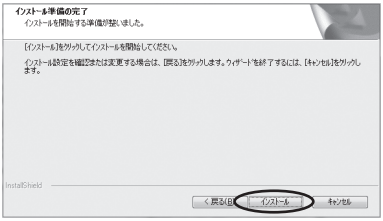
ドライバーのインストール先を選択します。
インストール先を変更する必要がない場合は、そのまま「次へ」をクリックします。

5.

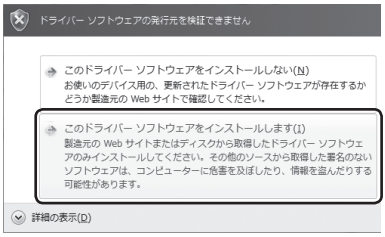


プログラムフォルダを選択します。
変更する必要がない場合は、そのまま「次へ」をクリックします。

6.

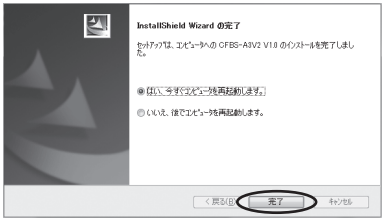


インストール準備が完了したので、「インストール」をクリックします。



※ご使用のOSによっては、Windowsセキュリティの画面が出ることがあります。
この場合、「→このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してください。

7.



ドライバーインストールが実行され、完了画面が出ます。
正常に完了させるにはPCを再起動する必要がありますので、
「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」
を選択し、「完了」をクリックするとPCが再起動します。

以上でドライバーインストールは完了です。

【スキャナードライバーのインストール】

■Macの場合

1.

本製品付属のドライバー CD-ROMを光学ドライブにセットすると「AutoRun」がマウントされるので、それを開き、中にある「Scanner Driver」をダブルクリックします。

2.

お使いのOSがMac OS 10.5の場合、「Mac OS X 10.4 or 10.5」を、Mac OS10.6以降の場合は「Mac OS X 10.6 or Later」をダブルクリックします。

3.

「CFBS-A3V2.mpkg」をダブルクリックするとインストールが開始されます。

4.

ドライバーインストールが開始されますので、「続ける」をクリックしてください。

5.

ドライバーのインストール先を選択して「続ける」をクリックします。

6.

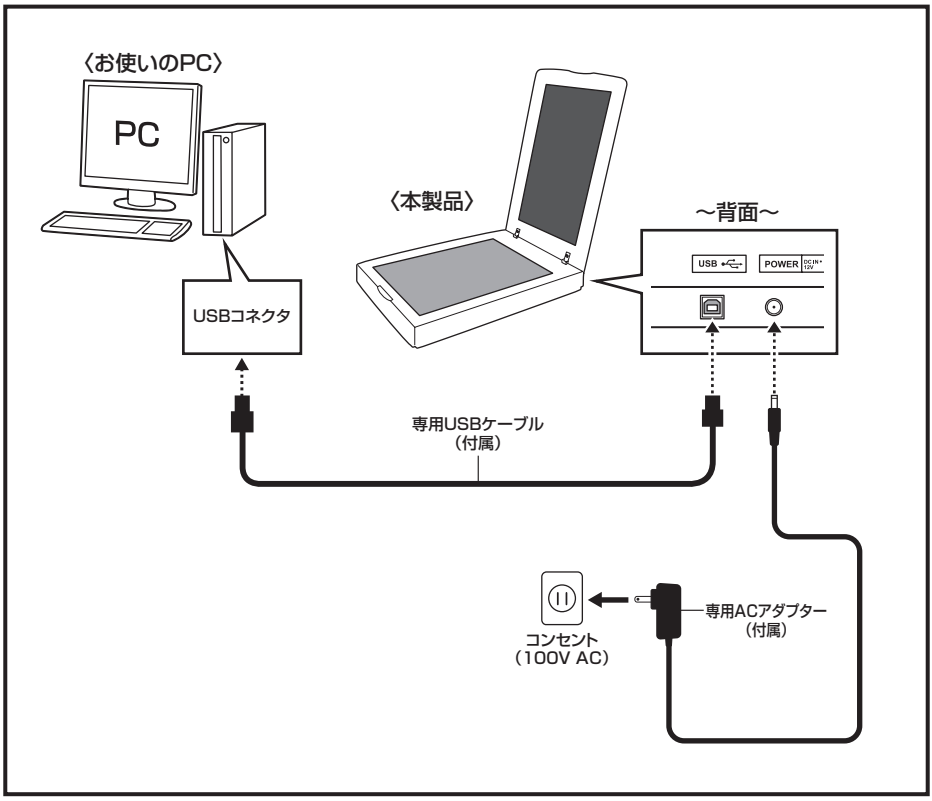
ドライバーインストールの準備が整ったので、「インストール」をクリックします。
この際、ドライバーインストールを続行するために認証を行う必要があります。名前とパスワードを入力し、「OK」をクリックするとインストールが開始されます。

7.

ドライバーのインストールが完了したら、「閉じる」をクリックします。

【PCとの接続方法】

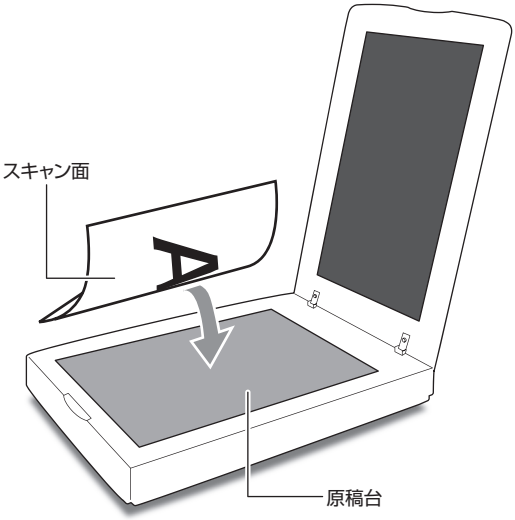
本製品とPCを図のように接続します。



※本製品には電源スイッチはございませんので、長時間使用しない場合はACアダプターを本製品から取り外してください。

【原稿のセット方法方法】

本製品でスキャン（取り込み）したい原稿を、スキャン面を下にしてセットしてください。
原稿を間違った方法でセットすると、正しくスキャンできない場合があります。ご注意ください。



原稿カバーを閉じた際、「Panel Ver2.0」というアプリケーションが起動する場合がありますが、本マニュアルではTWAINドライバー上での操作を説明しますので、右上の「X」をクリックしてアプリケーションを終了してください。

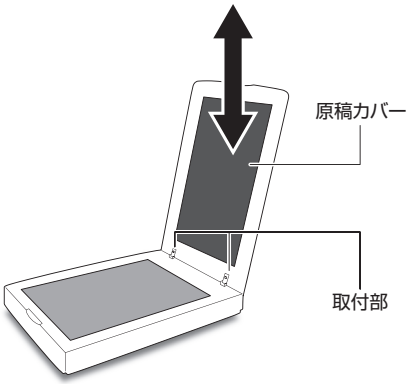
■原稿カバーの取り外し方法

原稿台よりも大きな原稿や、本などの厚みのある原稿をスキャンする場合は、原稿カバーを取り外してスキャンすることができます。

1. 原稿カバーを垂直に持ち上げて、本体から取り外します。

2. 取り外した原稿カバーを本体に戻す場合は、取付部が元の状態になるように本体にセットします（本体側の穴にセット）。

※原稿カバーを取り外した状態で原稿をスキャンする場合は、原稿台に原稿となるものを密着させてください。
このとき、あまり強い力で原稿台を押さえつけないようにご注意ください。



【原稿をスキャンする】

■スキャン方法と使用ソフトウェアについて

本製品は画像取り込みの標準規格「TWAIN」に対応しているため、TWAIN対応の画像処理ソフト等を使用して原稿をスキャンすることができます。
本章以降では本製品付属のソフトウェアを使用したスキャン方法を説明します。

〈Windowsの場合〉

【原稿をビットマップやJPEG、TIFF形式でスキャンする】 ……P.14
→ArcSoft MediaImpression2
【原稿をPDF形式でスキャンする】 ……P.21
→ABBYY Fine Reader

※その他のTWAIN対応ソフトウェアでスキャンを行う場合は、P.16 手順5のTWAINドライバー起動後以降をご参照ください。

〈Macの場合〉

【Mac OS 10.5.8でのスキャン方法】……P.25
【Mac OS 10.6以降でのスキャン方法】……P.27

※その他のTWAIN対応ソフトウェアでスキャンを行う場合は、P.26、P.28の手順5以降をご参照ください。

■A3原稿の2400dpiでのスキャンについて

本製品は解像度2400dpiでのスキャンに対応していますが、2400dpiでのスキャンについては次の制限があります。

- **フルカラー2400dpiでスキャンを行う場合、ファイル容量の関係上付属のソフトウェアを含むほとんどのソフトウェアでA3原稿全体のスキャンはできません※。**
  A3原稿をスキャンする際は、範囲を指定してスキャンを行うか、解像度1200dpi以下の設定にてスキャンを行ってください。

※弊社テストでは、Abode Photoshop CS4以降でのみA3原稿全体を2400dpi（24bitカラー）でスキャンできることを確認していますが、すべての環境での動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

〈弊社テスト環境〉
●CPU ：intel Core2Quad Q6600
●メモリ：4GB
●OS ：Windows 7 Professional（32bit）

■スキャン速度とファイル容量について

スキャン速度は使用する環境やスキャンする原稿によって変動することがありますので、以下は目安としてご参考ください。

●スキャンサイズ：A3　●保存形式：BMP の場合

カラー

解像度	スキャン速度	ファイルサイズ
100dpi	20 秒	5.5MB
150dpi	20 秒	12.4MB
300dpi	28 秒	50MB
600dpi	38 秒	199MB
1200dpi	115 秒	795MB

グレースケール

解像度	スキャン速度	ファイルサイズ
100dpi	20 秒	1.8MB
150dpi	20 秒	4.1MB
300dpi	20 秒	16.6MB
600dpi	23 秒	66.2MB
1200dpi	53 秒	265MB

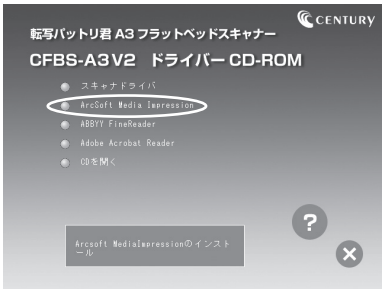
【原稿をビットマップやJPEG、TIFF形式でスキャンする】

付属のソフトウェア「ArcSoft MediaImpression2」を使用して原稿をスキャンします。
スキャンしたデータはビットマップ（BMP）、JPEG、TIFF形式で保存することができます。
スキャンした原稿をPDFで保存したい場合は、P.21【原稿をPDF形式でスキャンする】をご参照ください。

※ここでは、「MediaImpression2」を使用して原稿をスキャンする方法のみを説明します。
その他の使用方法は、ソフトウェアのオンラインヘルプ等をご参照ください。

■ArcSoft MediaImpression2をインストールする

1.

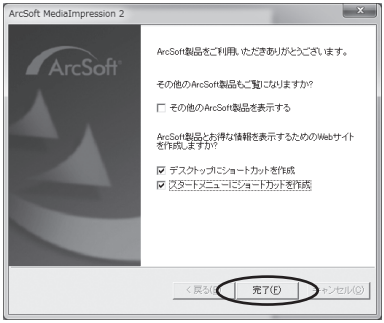


本製品付属のドライバーCD-ROMを光学ドライブにセットし、「Arcsoft Media Impression」をクリックします。

2.

画面の指示に従い、インストールを行います。

3.



インストール終了後、「完了」クリックするとインストールが完了します。

■Media Impression2で原稿をスキャンする

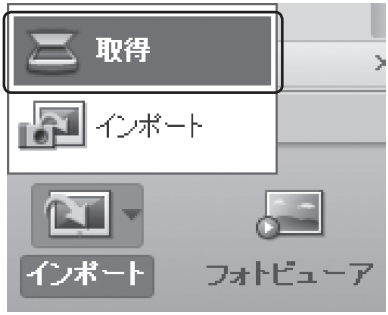
1.

「Media Impression 2」を起動します。

2.

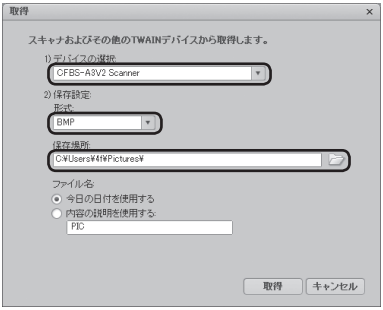
「写真」をクリックします。

3.



画面左下の「インポート」→「取得」をクリックします。

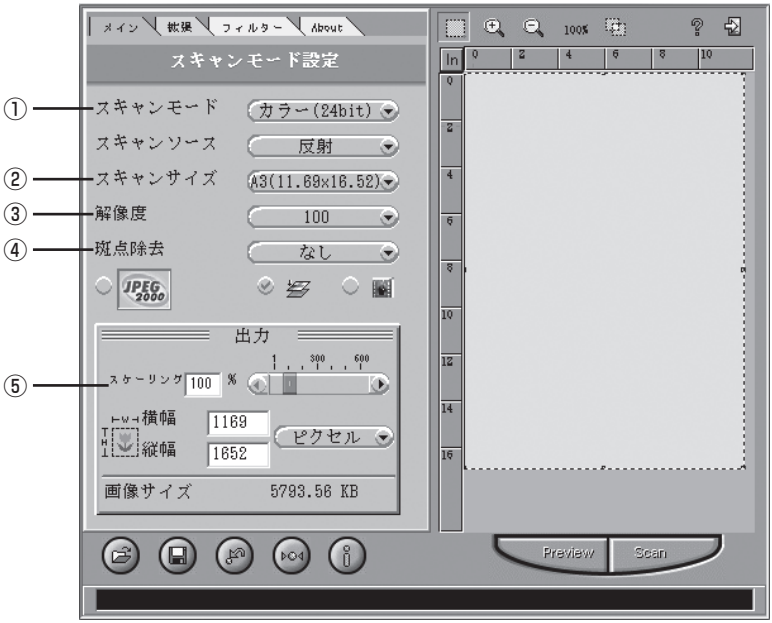
4.



デバイスの選択が「CFBS-A3V2 Scanner」になっていることを確認し、保存形式と保存場所を選択します。
保存形式はBMP、JPEG、TIFF、PCA、TGAから選択できます。

【原稿をビットマップやJPEG、TIFF形式でスキャンする】

5. 本製品のTWAINドライバーが起動します。
※他のTWAIN対応ソフトウェアでスキャンを行った場合はこの手順からお読みください。



〈 設 定 項 目 〉

①**スキャンモード**：カラー（48/24bit）、グレー（16/8bit）、白黒から選択できます。

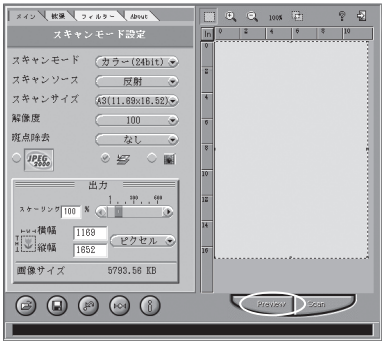
②**スキャンサイズ**：定型としてA3、A4、B5が選択できるほか、カスタムでスキャンする範囲を指定することができます。
範囲指定の操作方法はP.19 手順8をご参照ください。

③**解　像　度**：100dpi ～ 2400dpiの範囲で選択できます。
※2400dpiでのスキャンは、スキャンできる範囲に制限が出る場合があります。
※4800dpi、7200dpi、9600dpiも選択は可能ですが、スキャンできる範囲が極端に狭くなったり、ご使用のソフトウェアによってはエラー発生などの不具合が生じる可能性がありますので、使用しないでください。

④**斑　点　除　去**：原稿の斑点等を除去してスキャンを行う設定です。
必要に応じて設定してください。
※本機能を使用すると、「なし」の場合に比べて画像サイズが増大することがあります。解像度の設定によってはご希望のサイズでスキャンできなくなる場合がありますので、その場合は本機能を使用しないでください。

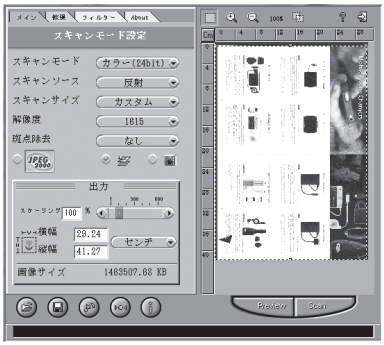
⑤**スケーリング**：原稿を拡大してスキャンします。100%（原寸）～ 600%の範囲で指定可能です。
※拡大を行うと、その分画像サイズが増大します。解像度の設定によってはご希望のサイズでスキャンできなくなる場合があります。

6. プレビュー用のスキャンを行います。

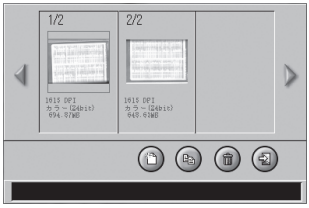


本製品の原稿台にスキャンしたい原稿をセットし、セットした原稿のサイズを「スキャンサイズ」から選択して「Preview」をクリックすると、プレビュー用のスキャンが開始されます。
この段階では実際にスキャンは行われません。
スキャンする範囲を指定する場合は、P.18 手順8をご参照ください。

7.



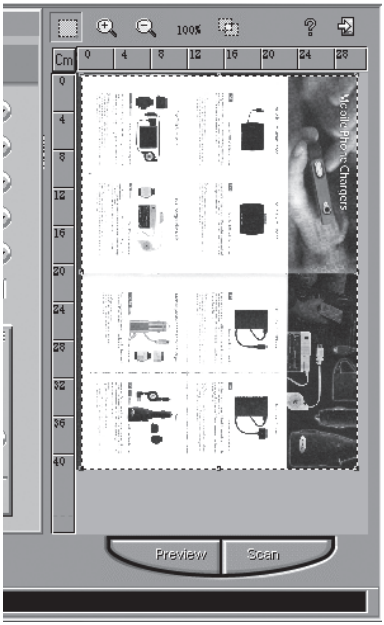
プレビュー用のスキャンが完了すると、画面右側にスキャンした画像が表示されます。
このプレビューを元に、実際にスキャンする際の設定を行っていきます。



複数の原稿を同時にスキャンした場合、それぞれの原稿を自動的に認識して範囲を指定する「Batch Scan」が起動することがあります。
Batch Scanの操作方法については、P.19 手順8をご確認ください。

【原稿をビットマップやJPEG、TIFF形式でスキャンする】

8. 実際のスキャンを行う前に、スキャンする範囲の指定を行います。

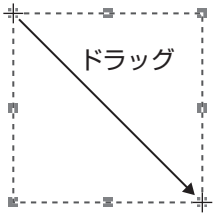


■範囲の指定方法

マウスカーソルをプレビュー画像の上に置くと、カーソルが次のいずれかの形状に変化します。

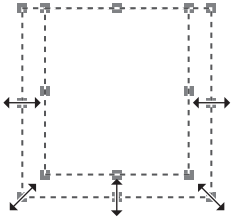
・「＋」カーソル

選択したい箇所の始点に置き、ドラッグすると範囲の指定ができます。
指定された範囲は点線で囲われます。



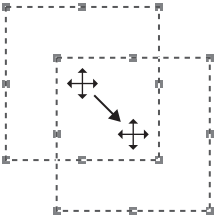
・「↕」「↔」「⤡」「⤢」カーソル

点線上でドラッグすると指定した範囲の調整ができます。



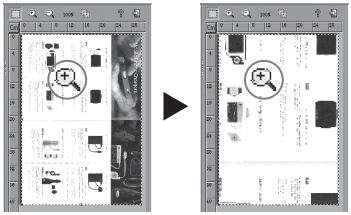
・「✣」カーソル

選択した範囲の中でドラッグすると選択範囲の移動ができます



～選択範囲の微調整を行うには～

・画面上部の「 🔍 」アイコンを選択し、プレビュー画面の拡大したい箇所をクリックすると、画像が拡大されますので、選択範囲の微調整を行うことができます。



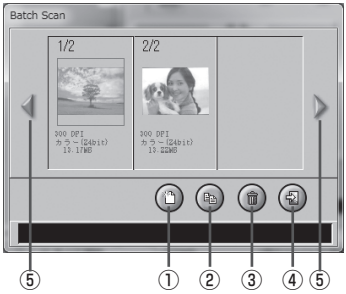
・画像を縮小したい時は「 🔍 」を選択し、プレビュー画面をクリックしてください。

■Batch Scanについて

本TWAINドライバーには複数の原稿を同時にスキャンする際、自動で原稿部分の範囲を指定し、分割して保存を行う「Batch Scan」という機能を搭載しています。
この機能は複数の原稿をそれぞれすき間を開けて原稿台に置き、プレビュースキャンを行うと自動的に起動します。

例：2枚の写真原稿を同時にスキャンし、分割して保存する

1. 原稿台に2枚の写真原稿をセットし、プレビュー用スキャンを行います。



2. Batch Scanが自動的に起動しますので、各種設定を行います。

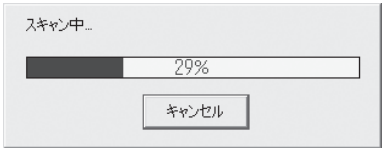
①新規：手動で新たに選択範囲が設定できます。
　１枚の原稿をさらに分割したい場合などにご使用ください。
②ｺﾋﾟｰ：選択中の範囲をコピーします。
③削除：選択中の範囲を削除します。スキャンする必要のない部分を削除したい場合にご使用ください。
④終了：Batch Scanを終了します。終了した場合、選択範囲の分割は反映されませんのでご注意ください。
⑤移動：3個以上分割された範囲を閲覧する際に使用します。

3. 設定が終わったら、**Batch Scanを起動した状態で**「Scan」ボタンをクリックします。
Batch Scanを閉じてしまうと分割して保存されません。

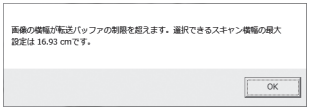
※原稿どうしのすき間がない場合、Batch Scanが自動的に起動しないことがあります。その際は、画面上部の「 」をクリックすると起動しますので、手動で範囲の設定を行ってください。

【原稿をビットマップやJPEG、TIFF形式でスキャンする】

9.



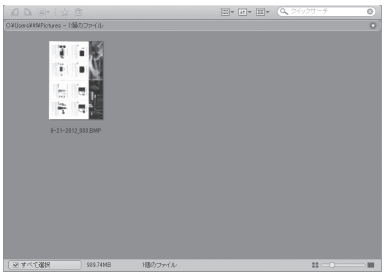
各種設定後、「Scan」をクリックすると、実際のスキャンが開始されます。



「Scan」を押したあとに図のような警告が表示される場合は、ファイルの容量制限を越えています。
解像度を下げたり、スキャンする範囲を狭めてください。
また、斑点除去やスケーリングの設定をしている場合は、それらの設定をリセットしてください。

10.

スキャンが完了したら、右上の「X」ボタンを押して TWAINドライバを閉じます。



指定した保存先に画像が選択した形式で保存され、MediaImpression2上にスキャンした画像のサムネイルが表示されていればスキャン完了です。

【原稿をPDF形式でスキャンする】

付属のソフトウェア「ABBYY FineReader」を使用して原稿をスキャンします。
スキャンしたデータはPDF形式で保存することができます。

※ここでは、「ABBYY FineReader」を使用して原稿をPDF形式でスキャンする方法のみを説明します。
その他の使用方法は、ソフトウェアのオンラインヘルプ等をご参照ください。

■ABBYY FineReaderをインストールする

1.

本製品付属のドライバー CD-ROMを光学ドライブにセットし、「ABBYY FineReader」をクリックします。

2.

画面の指示に従い、インストールを行います。

3.

インストール終了後、「完了」をクリックするとインストールが完了します。

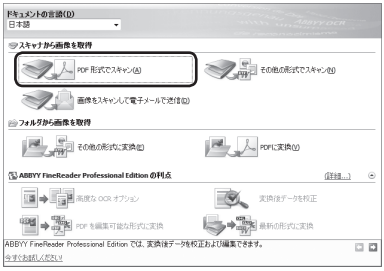
■ABBYY FineReaderで原稿をスキャンする

1.

・Windows 7 / Vista / XP
スタートメニュー→すべてのプログラム→ABBYY FineReader 9.0 Sprint→ABBYY FineReader 9.0 Sprintをクリックし、ソフトウェアを起動します。

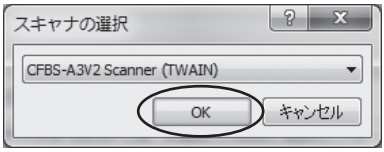
・Windows 8
MetroUIから「ABBYY FineReader9.0 Sprint」をクリックし、ソフトウェアを起動します。

2.



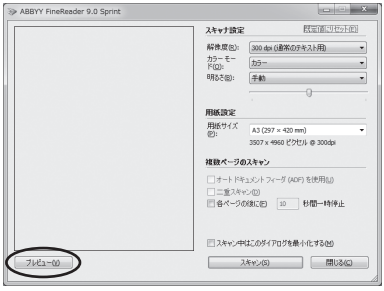
「PDF形式でスキャン」をクリックします。

3.



「CFBS-A3V2 Scanner（TWAIN)」を選択して「OK」をクリックします。

4.



本製品の原稿台に原稿をセットし、「プレビュー」をクリックするとプレビュー用のスキャンが開始されます。

【原稿をPDF形式でスキャンする】

5. プレビュー用のスキャンが完了すると、左側にスキャンした画像が表示されますので、これを元にスキャンする範囲の選択や解像度の設定を行います。

〈 設 定 項 目 〉

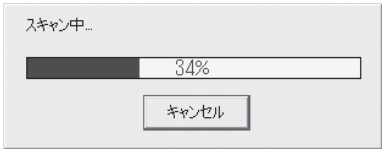
①解　　像　　度：200dpi、300dpi、600dpiから選択します。

②カラーモード：カラー、グレースケール、モノクロから選択します。

③明　　る　　さ：スライドバーで明るさを調整します。

④用 紙 サ イ ズ：スキャンする原稿の用紙サイズに合わせて選択します。

6.



設定完了後、「スキャン」をクリックするとスキャンが開始されます。

7.

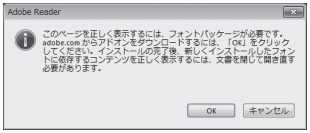
スキャンが完了すると、自動的にPDF形式への変換が始まります。

8.

保存先を指定するウインドウが表示されるので、保存先を指定して保存するファイル名を入力し、「保存」をクリックします。

9.

PDF閲覧ソフトがインストールされている場合、変換が完了後に自動的に作成したPDFファイルが表示されます。

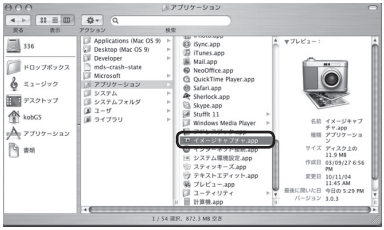


本ソフトウェアはOCR機能を搭載しているため、スキャンした原稿に文字があると、PDFに自動的に文字情報を付加します。
そのためPDF閲覧ソフトでファイルを表示した際にフォントのインストールを求められることがあります。
文字情報の編集等を行わない場合はフォントのインストールは特に必要ありません。

【Mac OS 10.5.8でのスキャン方法】

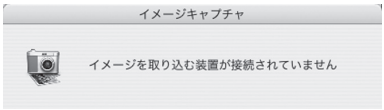
この章で説明する方法は、Mac OS 10.5.8でのスキャン方法になります。Mac OS 10.6以降でのスキャン方法は、P.27「Mac OS 10.6以降でのスキャン方法」をご参照ください。

1.



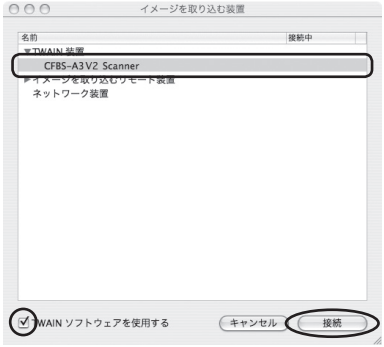
Macintosh HD→アプリケーション→「イメージキャプチャ」を開きます。

2.



「イメージを取り込む装置が接続されていません」と表示されますが、問題ありませんのでポップアップメニューの装置→「装置をブラウズ」を選択します。

3.



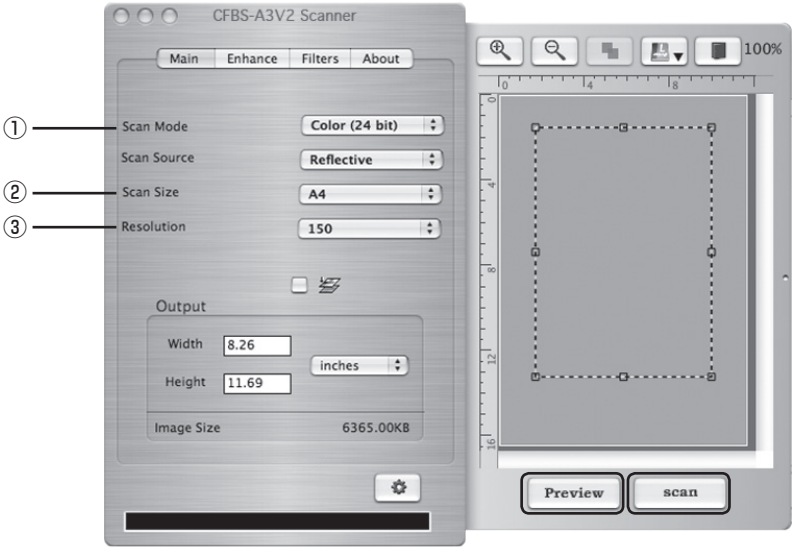
TWAIN装置の左にある▼マークをクリックすると、スキャナが表示されますで、選択します。
左下の「TWAINソフトウェアを使用する」にチェックを入れ、「接続」をクリックします。

4.

スキャンした画像の保存先、保存名、画像のフォーマット形式を設定し、「スキャン」をクリックします。

5.

設定画面が開くので、各項目を設定し「scan」をクリックすると、原稿の読み取りが開始されます。
画像を保存せず、スキャン結果を確認したい場合は「Preview」をクリックします。



〈 設 定 項 目 〉

①**Scan Mode**：Color（24 bit）（写真）/ Grayscale（グレイスケール）/ Lineart（白黒）から選択します。

②**Scan Size**：スキャンする原稿のサイズに合わせて変更します。

③**Resolution**：解像度を 100/150/300/600/1200/2400dpi から選択します。
※2400dpi以上の解像度が選択できるようになっていますが、本製品では使用できません。ご注意ください。

【Mac OS 10.6以降でのスキャン方法】

※本章は、Mac OS 10.6.8以降でTWAIN対応ソフトを使用せずにスキャンする方法について説明しています。
フォトレタッチソフト等、TWAIN機器からの読み込み機能を持っているソフトで本製品を使用する場合には、スキャナードライバーのみインストールされていれば使用可能です。

※本章の説明は Mac OS 10.6 以降でのみ有効です。
Mac OS 10.5.8 でのスキャン方法はP.25の手順通りになります。

★Mac OS 10.6.8以降のイメージキャプチャは本製品を認識しないため、代わりに本製品のCD-ROMに収録されている「Image Acquire」というソフトウェアを使用することで、原稿のスキャンが可能になります。

ご注意：本ソフトウェアをインストールする前に、必ずスキャナードライバのインストールを行ってください。

■インストール方法

1.

本製品付属のCD-ROMを光学ドライブにセットすると、「Autorun」がマウントされますのでそれを開き、中にある「Image Acquire」フォルダをダブルクリックして開きます。

2.

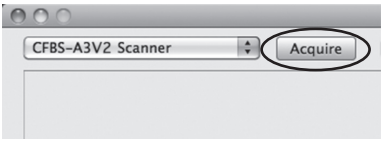
フォルダの中にある「Image Acquire」をダブルクリックすると、インストールが開始されます。
手順にしたがってインストールを完了させてください。

■使用方法

1.

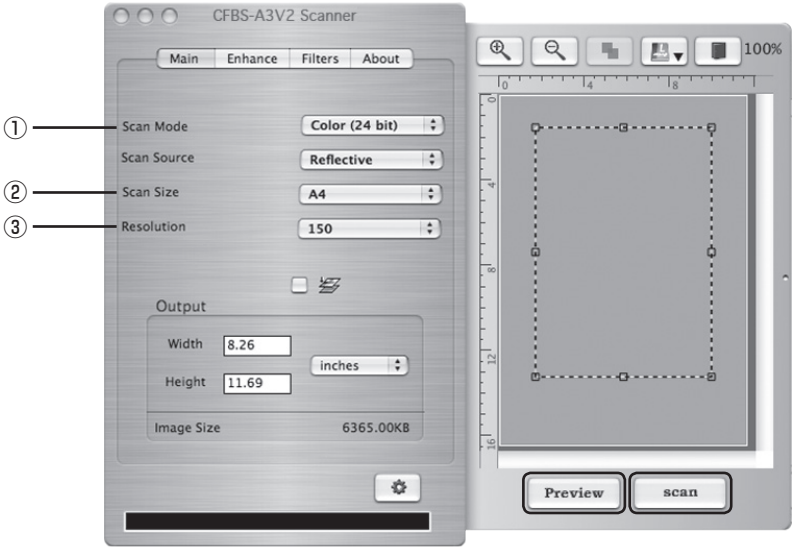
アプリケーションフォルダを開き、「Image Acquire」を起動します。

2.



「CFBS-A3V2 Scanner」が選択されていることを確認し、「Acquire」をクリックします。

3. 設定画面が開くので、各項目を設定し「scan」をクリックすると、原稿の読み取りが開始されます。
画像を保存せず、スキャン結果を確認したい場合は「Preview」をクリックします。



〈 設 定 項 目 〉

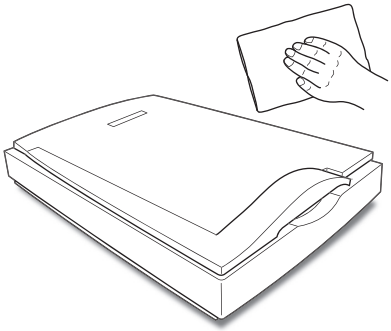
①Scan Mode：Color（24 bit）（写真）/ Grayscale（グレイスケール）/ Lineart（白黒）から選択します。

②Scan Size：スキャンする原稿のサイズに合わせて変更します。

③Resolution：解像度を 100/150/300/600/1200/2400dpi から選択します。
※2400dpi以上の解像度が選択できるようになっていますが、本製品では使用できません。ご注意ください。

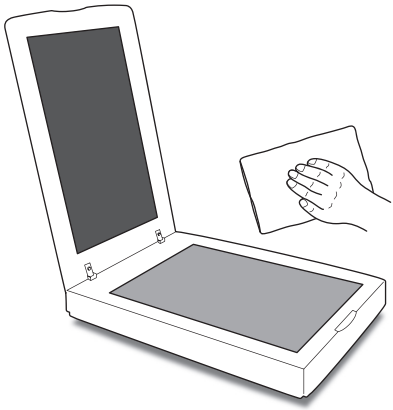
【本体のお手入れ】

本体が汚れた場合は、水に濡らして固く絞った布などで汚れをふき取ってください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた水に濡らして硬く絞った布などでふき取ってください。



■注意！
・お手入れの際にシンナー等の溶剤は使用しないでください。製品が変質するおそれがあります。

原稿台のガラス部分に指紋がついたり、汚れた場合は、眼鏡拭きなど柔らかい布で優しくふき取ってください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた水に濡らして硬く絞った布などでふき取り、その後乾いた柔かい布で空ぶきしてください。



■注意！
・あまり強い力で原稿台を拭かないでください。製品が破損するおそれがあります。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。
「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

セッティング編

■電源が入らない

・専用USBケーブル、専用ACアダプターが正しく接続されていることを確認する。

■本製品がPCに認識されない

・PCに本製品のドライバーが正常にインストールされているか確認する。
→【スキャナードライバーのインストール】（5ページ）
・USBハブ等で接続している場合、PCに認識されないことあるので、PCと本製品を直接接続してください。

■本製品が正しく動作しない

・静電気やノイズなどの影響により、本製品が動作しなくなる可能性があります。
一旦、専用USBケーブルの接続を解除してPCを再起動したあとに、再度正しく接続しなおしてください。

スキャン編

■画像がズレてスキャンされる

・原稿が原稿台にまっすぐセットされているか、また原稿にシワ、破れ等がないかご確認ください。

■本などをスキャンした際に裏面の文字等が透けてスキャンされてしまう

・原稿やページの裏面に黒い紙等をはさんでスキャンすると、低減できます。

■薄い紙などをスキャンした際に全体が暗くスキャンされてしまう

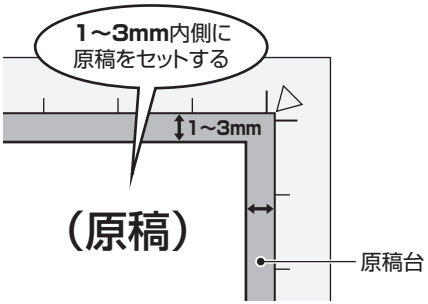
・原稿の裏面に白い紙等をはさんでスキャンすると、低減できます。

■スキャンした画像がぼやけてしまう

・原稿台と原稿に距離があると、画像がぼやけてしまいます。クリアホルダー等に入っている原稿は、クリアホルダーから取り出して、原稿を原稿台に密着させてスキャンしてください。

■紙の端が1～3mm欠けてスキャンされてしまう

・仕様となります。原稿を少し内側にセットしてスキャンしてください。



■取り込んだ画像に白い点（ホコリ）が映りこんでしまう

・原稿台にホコリがついていないかご確認ください。
市販のカメラ用ハンドブロアー等を使うとホコリの除去が簡単です。

■文字等が一部黒く膨らんだり、欠けてスキャンされてしまう

・スキャナ本体の設置場所が水平になっているかご確認ください。
スキャナ本体が傾いていると、スキャン結果に悪影響が出る場合がございます。
位置を直しても改善が見られない場合は故障の可能性がありますので、サポートセンターにご連絡ください。

その他

■ホコリを除去したり、傷を補正する機能はありますか？

・本製品および付属のソフトウェアには搭載されておりません。
別途レタッチソフト等をご使用ください。

— ご注意 —

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3．】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。
※This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー

■サポートセンター
〒277-0872　千葉県柏市十余二翁原(とよふたおきなはら)240-9
【TEL】04-7142-7533（平日 午前10時～午後5時まで）
【FAX】04-7142-7525
【web】http：//www.century.co.jp/【e-mail】support@century.co.jp

～お願い～　修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

弊社商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください

この度はセンチュリー商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。今後の商品開発等の参考にさせていただきたいと思いますので、商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください。
下記e-メールアドレス、またはURLにて受け付けております。どうぞよろしくお願いいたします。

【e-mail】call@century.co.jp　【web】http://www.century.co.jp/call.html